

議 事 録

| | |
|---------|---|
| 会議の名称 | 平成 29 年第 1 回茨木市立文化財資料館運営審議会 |
| 開催日時 | 平成 29 年 5 月 16 日 (火) (午前・ 午後) 6 時 0 0 分 開会 (午前・ 午後) 7 時 0 0 分 閉会 |
| 開催場所 | 文化財資料館 2 階 研修室 |
| 出席者 | 委員長：瀧端 真理子 (追手門学院大学心理学部教授) 副委員長：岡市 正規 (茨木神社宮司) 委員：白井 亮吾 (茨木市小学校社会科研究部会副部長 (豊川小学校)) 中谷 早苗 (千提寺キリシタン遺物保存会役員) 辻尾 榮市 (地域歴史民俗考古研究所所長) 難波 洋三 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所客員研究員) 若林 邦彦 (同志社大学歴史資料館准教授) 吉村 健 (大阪府立茨木高等学校指導教諭) 四方 英之 (茨木市立畑田小学校校長) (敬称略) 【計 9 人】 |
| 欠席者 | 足立 久美子 (公益財団法人堺都市政策研究所理事) (敬称略) |
| 事務局職員 | 岡田 祐一 教育長、乾 克文 教育総務部長、 辻田 新一 社会教育振興課長、前田 聡志 歴史文化財係長、 前田 恵子 文化財資料館長 清水 邦彦 学芸員、高橋 伸拓 学芸員、桑野 梓 学芸員、 竹原 千佳誉 文化財調査担当員 【計 9 人】 |
| 開催形態 | 公開 / 非公開 |
| 議題 (案件) | (1) 平成 28 年度文化財資料館等事業報告について (2) 平成 29 年度文化財資料館等事業計画について |
| 配布資料 | 平成 29 年度 第 1 回 茨木市立文化財資料館運営審議会 資料 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 事務局 | 【開会】 |
| 教育長 | 【開会挨拶】 |
| 事務局 | 【会議の成立】 全委員 10 人中 9 人出席につき、茨木市立文化財資料館運営審議会規則第 4 条第 3 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。 |
| 事務局 | 【事務局の紹介】 平成 29 年 4 月 1 日付けの人事異動に伴う事務局職員及び新規採用職員の紹介。 |
| 事務局 | 【議事の進行の交代】 議事の進行を事務局から瀧端委員長に交代 |
| 瀧端委員長 | 【審議の公開について】 審議会及び会議録の公開・非公開について諮りたいと思います。公開についての説明を事務局からお願いします。 |
| 事務局 | 「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、原則公開の旨を説明。資料の閲覧、持ち帰りも審議会の判断で可能であること、会議録についても公表に努めている旨を説明。 |
| 瀧端委員長 | 審議会については原則に則り公開とし、非公開とすべき案件が発生したときは皆様にお諮りし、非公開を決定します。会議録についても公開とし、資料についても傍聴者への閲覧及び持ち帰りを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。 (異議なしの声) |
| 瀧端委員長 | 本審議会は公開とし、資料の閲覧及び持ち帰りも許可することといたします。傍聴人がいらっしゃるか確認してください。 |
| 事務局 | いらっしゃいません。 |
| | 《案件 1 平成 28 年度文化財資料館等事業報告について》 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|--------|---|
| 瀧端委員長 | では次第に従い、報告事項の「平成 28 年度文化財資料館等事業報告について」、事務局から報告、説明をお願いします。 |
| 事務局 | 平成 28 年度文化財資料館等事業報告資料をもとに説明。 |
| 瀧端委員長 | ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願いいたします。 |
| 若林委員 | 館報は他機関等への配布以外に、どのように公開されているのか。例えば、来館者が購入することはできるのか。 |
| 事務局 | 販売はしていない。本館や図書館での閲覧、およびHP上での公開をしている。 |
| 瀧端委員長 | 市史編さん室から引き継いだ資料の収蔵スペースは余裕があるのか。 |
| 事務局 | 市史編さん室の部屋を引き継いで保管している。 |
| 岡市副委員長 | 市史編さん室も移管され、資料もますます増加してくる。整理が大変だと思う。従来の資料に加え、市史編さんで得た成果を展示するためにも、市民会館の跡地に文化財資料館を移転する、もしくは新たに建設される施設に入れてもらえるよう、文化財資料館運営審議会の意見として、積極的にあげていくことはできないのか。 |
| 瀧端委員長 | 前向きなご意見ありがとうございます。ご意見は今年度以降のことでもありますので、案件 2 でとりあげたいと思います。ほかに、昨年度の事業報告でご意見はいかがでしょうか。 |
| 白井委員 | 出前講座の参加校は広がっているとは思いますが、一方で固定化されており、どれだけ新規開拓できているのか気になる。ここ数年の動向はどうなっているのか。 |
| 事務局 | 市域南部の学校が例年多いが、毎年若干の入れ替わりがある。今年度も、昨年来ていなかった中条小学校の 6 年生が来ている。入れ替わりのうち、新規開拓については、昨年度に各学校に資料持参で団体見学および出前講座の周知をした効果もあると考えている。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|--------|--|
| 瀧端委員長 | 小学校3年生の団体見学が多いのに対して、小学校6年生の団体見学はなぜ少ないのか。 |
| 事務局 | 以前は多かったが、指導要領の改訂で見学時期が修学旅行の事前学習にあたるため、カリキュラム上、見学が難しいと聞いている。 |
| 白井委員 | 小学6年生になると歴史学習が多くなり、体験学習が減り、ペーパー上の学習が多い。6年生の教師に対し、新学期に入った4月頭に提案、アナウンスをしたら、もっと利用していただけるのではないか。出前講座の案内も4月に届いているが、なかなか教職員も見えていないと思う。時期に応じて、アナウンスすると、利用校が増えるのではないか。 |
| 瀧端委員長 | 春が難しいのであれば、秋以降に利用するのは学校側としてどうか。 |
| 白井委員 | 茨木市で活用するとすれば、1学期の学習になってしまう。そうすると、内容的に逆行してしまう。歴史学習のスタートとしては、団体見学は意味があることなので、4月に団体見学の案内がある方が望ましい。 |
| 事務局 | 5月の校長会でアナウンスしている。時期に応じてアナウンスできるよう検討していく。 |
| 若林委員 | 出前講座のメニューはwebで公開しているか。館のHP内で教員向けのページがあってもよいのでは。 |
| 岡市副委員長 | 学校の先生方はどのようにして出前講座を知るのか。 |
| 白井委員 | 4月に送られてくる冊子で知れるが、この冊子をきちんと保管している教師は少ないと思う。教員が見れる掲示板などの活用が可能であれば、効果があると思う。 |
| 事務局 | 他課の協力を得る必要もあるため、検討していく。 |
| 瀧端委員長 | 一般の方々はどのように情報をえて、講演会等に来られているのか。 |
| 事務局 | 展示関連の事業であればちらし・ポスター、また、その他の事業については市広報や市HPをみてるのが多いと感じている。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|--------|---|
| 瀧端委員長 | 講演会等でアンケートをとっているのか。 |
| 事務局 | 展示についてのアンケートはとっており、そのなかで講演会などについては先ほどの情報で知ったとの声があるが、各講演会・講座の個別アンケートはとっていない。 |
| 難波委員 | 館外貸出のアルフレッサファーマについて説明してほしい。 |
| 事務局 | 原因者負担の発掘調査に協力していただいた会社。会社のロビーに展示したいとのことで、1年更新で資料を貸し出している。 |
| | 《案件2 平成29年度文化財資料館等事業計画について》 |
| 瀧端委員長 | 引きつづきまして、報告事項の「平成29年度文化財資料館等事業計画について」、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 平成29年度文化財資料館事業計画資料をもとに説明。 |
| 瀧端委員長 | ただいまの報告のなかで、ご意見・ご質問等をよろしくお願ひいたします。 |
| 吉村委員 | あくまでも希望だが、テーマ展の期間は12月11日終了で最終決定しているのか。茨木高校の日本史学習で利用するのは定期試験後となり、そうすると展示が終了している。 |
| 事務局 | 12月中旬以降は京都府立大学考古学研究室と共同で竜王山プロジェクトの調査が入る予定。また、資料返却もあるため、12月後半までずらすことは難しい。 |
| 岡市副委員長 | 調査・研究事業内の民俗の調査に関して、三島独活、ヒアゲ以外に考えていることはあるのか。三島独活の栽培者が替わり、また千提寺で酒米を復活させる動きがあり、民俗の調査に入ることは大変よいことだ。 |
| 事務局 | ヒアゲだけでなく、秋の例祭など市内各所で、昨年度から調査をしている。とくに、山間部は第二名神高速道路や安威川ダムの工事等で大きく変化しており、最後のチャンスだと考えている。 |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|--------|--|
| 難波委員 | (美術工芸の調査について) 兵庫県立博物館の仏像の展示を見てきたが、継続的な調査の結果、白鳳時代の仏像等が新たに発見されている。日本はどこでなにが見つかるかわからない。ぜひ、このような調査を継続的にやっていただきたい。また、寺院も一回行っただけではなかなか全てをみせてくれないこともある。関係ができると、調査ができることもある。 |
| 事務局 | 補足として、2年前から市域の社寺建造物の調査をしており、その時に美術・古文書担当の職員も参加して総合的に行っており、これからも関係先の方々とは良い関係性を築いていきたい。 |
| 若林委員 | 来年度、国際博物館会議を京都でやる。茨木市立文化財資料館の活動をアピールするよい機会であるので、これに合わせて何かできないか。昨年、第8回世界考古学会議では、京都市考古資料館はうまくひっかけて常設展示のキャプションを外国人向けにしていた。 |
| 瀧端委員長 | 文化財資料館は大阪モノレールと阪急京都線の結節点にあり、空港と京都をつなぐという点で、立地が抜群によい。 |
| 若林委員 | 国際博物館会議は3000人ぐらい参加する大規模なものなので、外国人向けのインフラを少しでも進めていくのは手である。 |
| 瀧端委員長 | すごく前向きな発言ありがとうございます。さきほど、案件1で岡市副委員長からご意見がありましたが、市民会館跡地利用について、どのような状況なのか説明をお願いします。 |
| 事務局 | 市長が様々な方の意見を聞く100人会議が終了した段階。もし複合施設ができるのであれば、教育委員会からは博物館を入れてほしいと意見を出している。しかし、現在の建物の解体についても詳細は決まっておらず、我々としても具体的には何もわからない状況である。 |
| 岡市副委員長 | 要望を出すことは良いことだと思う。市民の方からも、そういう意見をよく聞く。市民が言っているけど、教育委員会が上申していないと実現しないと思ったので。ところで、社寺の調査の窓口はどこか。 |
| 事務局 | 社会教育振興課の歴史文化財係でやっている。 |
| 岡市 | 茨木市は文化財指定されたものが少ない。松原市の事例で、一度見逃さ |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| 難波委員 | <p>れた案件が、再調査ですごく重要だということが判明し、文化財指定したことがある。</p> <p>京都の社寺はだいたいやっっているように見えるが、調査をおこなうとまた見つかる。見る目が変わると、新たな発見がある。以前見せてもらえなかったところを見せてもらえることもある。調査を継続的に行うことが重要。</p> |
| 白井委員 | <p>小学校との連携について、3年生、6年生は文化財資料館に来ている。一方、本市に採用された教員については、以前は教員初任者研修で来ていたが、ここ数年は日程等が難しく、資料館に来ていないと思う。教える側の教員が資料館を知らないのは残念なので、研修というかたちで館を利用することはできないか。</p> |
| 事務局 | <p>昨年度は教員初任者研修で館を利用していただいた。一昨年度は利用がなかったが、今後も利用してほしいと考えており、今年度の教員初任者研修での利用を教育センターに要望している。</p> |
| 瀧端委員長 | <p>テーマ展について、滋賀県立安土城考古博物館と兵庫県立考古博物館と協力することだが、共通招待券の作成や巡回展をおこなうのか。</p> |
| 事務局 | <p>同時期に開催する展示であり、巡回展ではない。共通招待券も他の2館はおこなうが、当館は入館無料のため実施できない。ただし、ちらしやポスターでの広報で協力をおこなう。また、講師の派遣交流をおこなう。</p> |
| 難波委員 | <p>以前、滋賀県立安土城考古博物館と大阪府立弥生文化博物館は銅鐸の展示で共通の幕を作っていたと思う。連携はどちらかということ、文化財資料館のメリットとなるので、ぜひ色々と宣伝してもらいたい。</p> |
| 瀧端委員長 | <p>ありがとうございました。次年度の事業計画につきましては、事務局提案のとおり進めていただき、次年度の審議会で報告を受け、審議するということがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> |
| 瀧端委員長 | <p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。いろいろなご意見ありがとうございました。</p> |

議 事 の 経 過

発言者

議 題 (案 件) ・ 発 言 要 旨 ・ 決 定 事 項

それでは、これもちまして、平成 29 年度第 1 回茨木市立文化財資料館
運営審議会を閉会いたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。

以上